

都市再生整備計画 事後評価シート
新河岸駅周辺地区

平成27年3月

埼玉県川越市

様式2-1 評価結果のまとめ

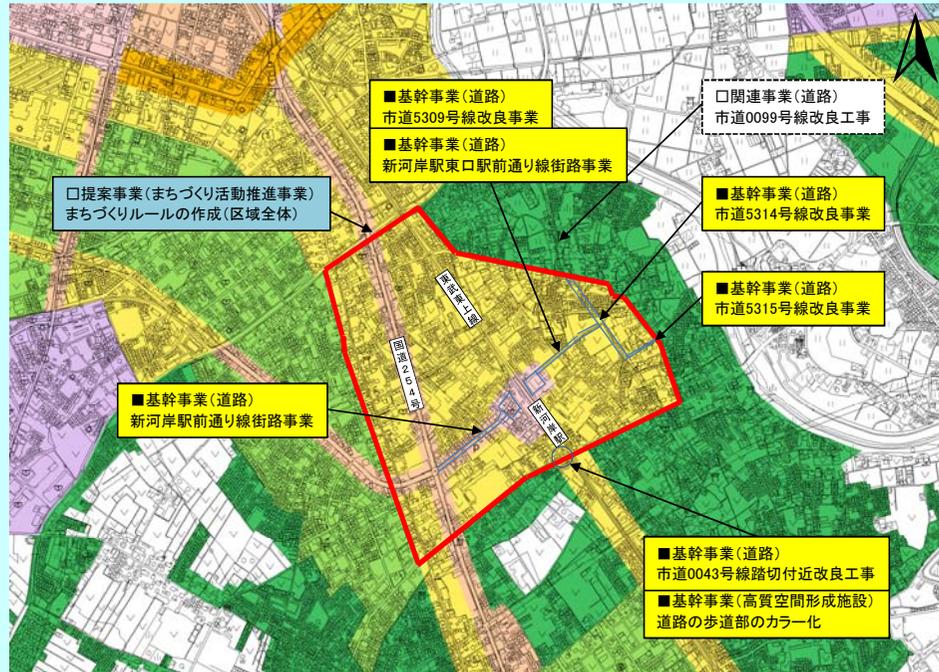
都道府県名	埼玉県		市町村名	川越市		地区名	新河岸駅周辺地区			面積	73.1ha		
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	3,494百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路事業(市道5314号線道路改良事業他2路線)、高質空間形成施設(道路の歩道部のカラー化)									
			提案事業	まちづくり活動推進事業(まちづくりルールの作成)									
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			基幹事業	情報板		次期計画での実施が適切と判断したため。			指標1の達成に影響するが、他の要因で値が変動する可能性もあるため、まちづくり指標等は据え置く。				
			提案事業										
新たに追加した事業		基幹事業	道路事業(新河岸駅前通り線街路事業他2路線)		都市計画事業の認可により交付期間内に事業化されたため。			指標1の達成に寄与するが、他の要因で値が変動する可能性もあるため、まちづくり指標等は据え置く。					
		提案事業											
交付期間の変更		当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	交通安全性・まちなみ満足度	%	28	H21	30	H26	-	42	○	ありなし	基盤整備や地区計画策定等に際し、住民合意を図ってきたことが満足度の向上につながった。	-
	指標2	特定箇所の交通事故発生件数	件数	6	H20	3	H26	-	3	○	ありなし	危険箇所となっていた五叉路の解消とその周辺の整備により、交通安全性が向上した。	-
	指標3	まちづくりワークショップ等の参加率	%	12	H21	15	H26	-	34	○	ありなし	生活に直結する事業により住民意識が向上し、ワークショップ等の参加率に反映された。	-
	指標4									ありなし			
指標5									ありなし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1	地区内における消防活動困難区域率の減少	%	41	H21			-	26		一定規模の道路整備が推進されたことにより、消防活動困難区域が減少した。	平成27年5月頃	
	その他の数値指標2	地区内における地区計画策定率の増加	%	0	H21			-	100		地区の特性を活かしたまちづくりへの機運が高まり、地区計画の策定につながった。	-	
その他の数値指標3	地区内における準防火仕様建築戸数の増加	戸	12	H21			-	38		地区計画の策定と土地利用の促進が、準防火仕様建築戸数の増加につながった。	平成27年5月頃		
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 目に見えるまちづくりが推進されたことにより、住民のまちづくりへの関心が高まり、住民と行政との対話が活発になった。 専門的なアドバイザーを交えたワークショップの開催により、住民の理解が深まり円滑な事業推進が図られた。 												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング		-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス		新河岸駅周辺地区のまちづくりに関するワークショップ及び説明会等を実施した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 今後の新河岸駅周辺地区の整備における住民参加プロセスへの活用を検討する。		
	持続的なまちづくり体制の構築		-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

新河岸駅周辺地区(埼玉県川越市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	大目標：駅前広場のある良質な空間形成と、安心して歩ける、協働のまちづくり 目標1：良質な空間形成 目標2：安全で安心なまちづくり 目標3：協働のまちづくり	交通安全性・まちなみ満足度	単位： %	28	H21	30	H26	42
特定箇所の交通事故発生件数		単位： 件数	6	H20	3	H26	3	H26
まちづくりワークショップ等の参加率		単位： %	12	H21	15	H26	34	H26

まちづくりルールの作成(まちづくりワークショップ)



市道5314号線改良事業(施工中)

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・基盤整備による交通安全性や防災性の向上には一定の進捗が見られたが、駅前の整備に更なる事業推進が求められている。 ・協働のまちづくりに向けたワークショップ等を通じて、住民間の交流が促進され、それぞれの立場における問題意識の向上が図られた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の核となる駅前の整備を継続して推進し、都市機能の集約による拠点性の強化を図る。このため、自由通路及び橋上駅舎の整備による、駅の東口開設が必要である。 ・関係権利者等と協力して、交通安全性と防災性の更なる向上に向けた取組みを行う。 ・地区計画と基盤整備を活用したまちづくりについて、地元や商店会との対話を進める。